第二十二回帝國議會

貴族院議事速記録第六號

明治三十九年二月十三日(火曜日)

午前十時七分開議

議事日程　第六號　明治三十九年二月十三日

午前十時開議

第一　三崎龜之助君請暇ノ件

第二　國債整理基金特別會計法案(政府提出衆議院送付)　第一讀會

第三　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第四　非常特別税法中改正法律案(政府提出衆議院送付)　第一讀會

第五　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

○議長(公爵德川家達君)　是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

去ル九日子爵選擧管理者ヨリ貴族院議員補闕選擧ニ當選シタル旨ノ報告ヲ受領セリ

正五位子爵　松平親信君

第四部理事松岡康毅君ヨリ左ノ通リ理事辭任ヲ申出テラレタリ

御　願

私儀

公務ノ都合ニ依リ理事辭任致度此段奉願候也

明治三十九年二月十三日

第四部理事

松岡康毅

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君)　第四部理事松岡康毅君ガ辭任ニ相成リマシタ、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君)　御異議ガ無イト認メマスカラ許可ヲ致シマス、第四部ノ理事ノ補闕選擧ハ其部ニ於テ行ハレムコトヲ希望イタシマス、議員子爵松平親信君ノ部屬ハ第二部ニ編入イタシマス、左樣御承知ヲ願ヒマス、其他ノ報告ハ例ニ依リ省略イタシマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ玆ニ載錄ス〕

去ル七日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ及ヒ可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十一年法律第三號廢止法律案

臨時事件費支辨ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

民法施行法中改正法律案

同日豫算委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名及豫算委員分科、分科擔當委員ノ氏名左ノ如シ

委員長　伯爵正親町實正君　副委員長　男爵松平正直君

第一分科(歳入大藏省)

伯爵正親町實正君　子爵牧野忠篤君　男爵西五辻文仲君

男爵吉川重吉君　西村亮吉君　中島永元君

富田鐵之助君　高橋新吉君　桑田熊藏君

兼務子爵三島彌太郎君　兼務小松原英太郎君　兼務男爵紀俊秀君

兼務南鄉茂光君

第二分科(外務省司法省)

子爵岡部長職君　子爵山口弘達君　子爵板倉勝達君

子爵靑木信光君　子爵永井尙敏君　男爵松平正直君

平山成信君　男爵平野長祥君　奧山政敬君

兼務淺田德則君　兼務男爵西五辻文仲君

第三分科(內務省文部省)

伯爵萬里小路通房君　子爵谷干城君　子爵堤功長君

子爵稻垣太祥君　男爵船越衞君　小松原英太郎君

男爵菊池大麓君　男爵紀俊秀君　木村誓太郎君

兼務男爵松平正直君

第四分科(陸軍省海軍省)

伯爵吉井幸藏君　子爵曾我祐準君　子爵堀田正養君

子爵內田正學君　子爵松平直平君　男爵有地品之允君

男爵野田豁通君　南郷茂光君　磯邊包義君
兼務男爵小澤武雄君　兼務中島永元君
第五分科(農商務省遞信省)
子爵鳥居忠文君　子爵三島彌太郎君　男爵小澤武雄君
淺田徳則君　男爵青山元君　藤田四郎君
武井守正君　岡田良平君　廣海二三郎君
兼務男爵有地品之允君　兼務男爵菊池大麓君　兼務木村誓太郎君
兼務桑田熊藏君

去ル八日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
國債整理基金特別會計法案
非常特別税法中改正法律案

同日衆議院ヨリ日本興業銀行法中改正法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

去ル十日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
鐵道敷設法中改正法律案
産業試驗費講習費國庫補助法案
軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル法律案
明治三十九年度歳入歳出總豫算案竝明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算案
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
臨時軍事費豫算追加案
明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)
明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)
明治三十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
明治三十五年法律第二十九號中改正法律案
臺灣銀行法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君)　是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、三崎龜之助君請暇ノ件、病氣ニ付四週間、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君)　御異議ガ無ケレバ許可ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君)　議事日程第二ニ移リマス、國債整理基金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ヲ朗讀イタシマス

〔小原書記官朗讀〕

國債整理基金特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年二月八日　衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

國債整理基金特別會計法

第一條　國債整理基金ヲ置キ其ノ歳入歳出ハ一般ノ會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

國債整理基金ハ國債ノ償還發行ニ關スル費途ニ使用スルモノトス

第二條　國債整理基金ニ充ツヘキ資金ハ毎年度一般會計ヨリ之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ルヘシ

前項毎年度一般會計ヨリ繰入ルヘキ資金中明治三十七八年戰役ニ關スル經費支辨ノ爲發行シタル國債及其ノ借換ノ爲ニ發行シタル國債ニ關スル分ハ年額一億千萬圓ヲ下ルコトヲ得サルモノトス

第三條　國債借換ニ依ル募集金其ノ他ノ收入金ハ直接ニ之ヲ國債整理基金特別會計ニ編入スヘシ

第四條　國債整理基金ハ金銀地金及有價證券ヲ以テ之ヲ保有シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ之ヲ運用スルコトヲ得

前項ノ運用ハ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第五條　政府ハ計算上利益アリト認ムル場合ニ於テ國債借換ノ爲低利ノ國債ヲ募集スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ利率、募集ノ方法、規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

國債借換ノ爲發行スル國債ニ關シ本法ニ規定ナキモノハ整理公債條例ニ

依ル

第六條　政府ハ計算上利益アリト認ムルトキハ額面以上ニテモ買入銷却ヲ爲スコトヲ得

第七條　國債整理基金ノ運用ヨリ生スル損益ハ本特別會計ノ所屬トシテ整理スルモノトス

第八條　國債整理基金ニシテ毎年度内ニ使用セサルモノハ翌年度ヘ繰越スヘシ

國債整理基金特別會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ遞次繰越使用スルコトヲ得

第九條　政府ハ毎年國債整理基金特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

附　則

第十條　本法ハ明治三十九年度ヨリ之ヲ施行ス

第十一條　本法施行前一般會計ニ收入シタル借換國債ノ募集金ニシテ本法施行ノ日ニ於ケル現在額ハ之ヲ本特別會計ニ繰入ルヘシ

明治三十八年度一般會計ニ於テ前項借換國債ノ募集金ヲ以テスル國債償還ノ歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ之ヲ本特別會計ニ繰越スヘシ

第十二條　償金特別會計法ハ明治三十八年度限リ之ヲ廢止ス

償金特別會計ニ屬スル現金、有價證券及他ノ會計トノ計算ハ國債整理基金特別會計ニ歸屬スルモノトス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君)　本案提出ノ理由ヲ一應辯明イタシマス、此度ノ日露ノ戰役ノ結果ト致シマシテ現在既ニ發行イタシマシタ公債ノ高ハ十二億八千萬圓餘ノ多キニ達シテ居リマス、尚此戰役ニ依ッテ生ジマシタル諸般ノ事務ヲ結了イタシマスニ付キマシテ、三十九年ニ於キマシテ追加豫算ガ提出ニナッテ居リマス、其結果ト致シマシテ公債ヲ募集イタシマスモノヲ合シマスレバ十七億圓餘ノ高ニ達シマスル、デ此戰役後財政ノ始末ト云フコトハ申スマデモナク最モ必要ナ事デゴザイマシテ、就中戰役ニ依ッテ生ジタル公債ノ始末ヲ如何ニスルカト云フコトハ第一著ニ必要ナル事柄デアラウト存ジマス、ソレニ付キマシテ此法案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマシテ、此法案ニ依リマシテ右戰役ニ依ッテ生ジタル公債ノ處分ヲ確乎ト致シテ内外公債ノ信用ヲ厚ウシ、將來ニ向ッテハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルト云フ考ヘデゴザイマス、本案ハ衆議院ニ於キマシテハ別段修正モ無ク原案ノ通リ可決ニ相成リマシタ次第デゴザイマス、本院ニ於カレマシテモ成ルベク速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君)　別ニ御發言ガゴザイマセヌケレバ次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君)　議事日程第三、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選擧、此特別委員ノ選定ハ議長ガ致シマシテ御異存ハゴザイマセヌカ

○伯爵正親町實正君　此委員ノ選定ハ議長ニ御任セスルコトハ異議ハゴザイマセヌガ、其數ハ十五名ト致シタイト思ヒマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君　贊成

○男爵有地品之允君　贊成

○議長(公爵徳川家達君)　唯今ノ正親町伯爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長(公爵徳川家達君)　過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君)　議事日程第四ニ移リマス、非常特別税法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ヲ朗讀イタサセマス

〔小原書記官朗讀〕

非常特別税法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年二月八日　衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

非常特別税法中改正法律案

非常特別税法中左ノ通改正ス

第一條　削除

第二十七條　削除

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君)　本案ト唯今前ニ説明イタシマシタ基金法トハ極メテ關係ノ厚イ即チ密接シタ法案デゴザイマス、即チ三十九年ニ於キマシテノ財政ノ經畫ノ大要ヲ申上ゲマスルト三十八年度ノ追加、臨時軍事費特別會計ノ追加並ニ三十九年度ノ總豫算ト此三ツニ渉リマシテ、其中デ此公債ノ償還ノ追加豫算ヲ省キマシタ後トノ三ツノ豫算總體ノ上ニ於キマシテ即チ三十九年ニ於テ財政上必要ト致シマス金額ガ十億三千萬デゴザイマス、其中八千八百萬圓ノ金額ガ昨年十二月ニ最早支出ノ必要ニ迫リマシタガ爲ニ勅裁ヲ經マシテ政府ニ於テ緊急支出ノ手段ヲ取リマシタノデゴザイマス、ソレ故ニ過日衆議院カラ當院ニ送付ニナリマシタ豫算ノ上ニ於キマシテ現レマシタ數字ハ九億ナニガシト云フ數字ニナリマスノデゴザイマス、即チ總體ニ於テハ十億三千萬圓デアルガ、其中八千八百萬圓ハ十二月ニ緊急支出ヲ致シマシタガ故ニ豫算トシテ御協賛ヲ仰ギマス高ハ九億四千萬デゴザイマス、其十億三千萬ノ中デ普通ノ歳計即チ日露ノ戰役ニ關係シナイ方ガ二億三千萬圓、日露ノ戰役ニ關係シテ生ジタ分ガ凡ソ八億ゴザイマス、此八億ノ中ニ三十九年度ニ於キマシテ既ニ將來經常ノ歳出トシテ永續スベキ性質ノモノガ一億七千二百萬ゴザイマス、之ニ對シマシテ政府ハ茲ニ經常歳入ヲ得ルノ經畫ヲ定メネバナラヌ、即チ經常ノ歳入ト臨時ノ歳出トノ區別ヲ明ニシテ既ニ經常ノ歳出ニ屬シマスモノガ一億七千二百萬アル以上ハ、ソレニ對シテ經常ノ歳入ヲ求メナケレバナラヌ、ト云フコトカラ此戰時税ハ平和克復後一箇年ヲ以テ廢止ニ屬ヌベキモノデゴザイマスガ、即チ此期限ヲ除キタイ、其期限ヲ除イテ之ヲ永久ノ財源トスルト云フコトガ、即チ此非常特別税法改正ノ要旨デゴザイマス、ソレハ此一億七千萬圓ト申ス經常ノ歳出ノ中ニハ公債ノ元利、恩給年金等ノ如キ既ニ義務ニ屬スル性質ノモノモ段々過半即チ大部分ヲ占メテ居ルト云フヤウナ次第デゴザイマスルノデ到底今日茲ニ確乎タル財源ヲ定メテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニシ内外ノ信用ヲ厚ウスルト云フコトガ最モ必要ナ手段デアルト認メタ次第デアリマス、本案ニ就キマシテハ衆議院ニ於キマシテモ種々議論ガアリマシテ、尚税法ソノモノニ付キマシテハ種々改良スベキモノハ無イカト云フ尋モゴザイマシタ、政府ニ於キマシテハ此歳入全體ノ上ニ於テ之ヲ減ズルト云フコトハ出來ヌ、即チ一億六千萬ト云フ歳入ヲ今日之ヲ減少スルト云フ見込ハ立タヌ、之ヲ立テルコトハ即チ國家ノ不利益ト信ズル、併ナガラ税ソノモノニ付テハ彼是改良スベキモノハアラウト信ズル、即チ愼重ニ之ヲ調査シテ其改正スベシト認ムルモノハ御協賛ヲ仰グコトニ致スト斯ウ答ヘマシタ次第デ、尚其調査ハ成ルベク速ニ大凡二箇年以内ニハ結了スルヤウニト云フ希望モゴザイマシテ、ソレニ同意イタシテ置キマシタ次第デゴザイマス、是ハ既ニ衆議院ノ議事錄デ明デゴザイマスガ、茲ニ尚申上ゲテ置キマス、サウ云フ次第デゴザイマシテ此前ノ減債基金法ト此非常特別税ノ期限ヲ除クト云フコトハ財政上最モ今日確乎トシテ決定イタシテ置カナケレバナラヌ問題デゴザイマス、且ツ互ニ密接イタシタ問題デゴザイマスルデ、是ハ成ルベク前ノ委員ニ御付託ニナリマシテ、同一委員ニ於テ御討議アラムコトヲ政府ニ於テハ希望イタシマスカラ、此段モ併セテ政府ノ希望ヲ申述ベテ置キマス

○男爵伊達宗敦君　大藏大臣ニ御尋ヲシタイコトガゴザイマス、是ハ少シク馬鹿念ナ問デアルト云フ御考ヲ或ハ滿場ノ諸君ガ持タレルカモ知レマセヌガ、私ハ極メテ愚鈍ノ人間デアルカラ能ク根ヲ掘ッテ伺ッテ置カナイト安心ガ出來マセヌカラ御尋ヲシマスガ、此非常特別税ハ申スマデモ無イ即チ前内閣ノ設計デ提出シタモノデアルノハ申スマデモ無イコトデアリマスガ、サウシテ此案ノ提出ト云フモノハ今日ノ大藏大臣阪谷君、即チ當時次官デ居ラレタト思ヒマス、唯今モ此案ヲ提出サレタ理由ニ付テハ懇々ト御述ベニナリマシタガ、此臨時税ヲ廢シテ永久ノ税ニシヤウト云フ御説明ニ付テハ未ダ私ドモニハ腑ニ落チナイ所モゴザイマスガ、先ヅソレハ措イテソレニ先ダッテ一應御尋ネシタイノハ他ノコトデモアリマセヌ、無論申スマデモ無イコトデアリマスガ、今ノ此案ハ前内閣ノ設計ニ依テ提出サレテ議會ノ協賛ヲ經タモノデアル、今日ノ大藏大臣ハ無論此案ニ付テハ全部非常ニ熱心ニ同意ヲサレテ居ル、熱心ニ同意ヲサレタカラ此案ノ改正モ提出サレタコトデアルト思ヒマス、十分ニ熱心ニ大ナル熱心ヲ以テ是ニハ重キヲ置イテ同意ヲサレテ居ルカト云フコトヲ御尋ヲシタイ、果シテサウデアリマスルナラバ、前内閣即チ前内閣ノ設計ニ係ル此案ノ提出ニ對スルノ責任ハ、其責任ト云フモノモ從ッテ今後大藏大臣ガソレヲ引受ケテ其責ニ任ズルノハ申スマデモ無イコトト存ジマス、此コトデアリマス、私ガ少シヲカシナ問デアルト言フノハ……、此事ヲ大藏大臣ノ口カラ一應伺ッテ置キマセヌト、唯今申上ゲタ通リ不安心ナ人間デゴザイマスカラ、唯今申上ゲマシタ此案ニ對シテハ前内閣ノ設計ノ案デアッテ、サウシテ十分ナル熱心ヲ以テ同意シテ居ラルルカ、無論此熱心ハ

無ケレバナラヌ譯デアリマスガ、果シテ其熱心ヲ持ッテ居ラルルカ、又其責任ニ付テモ無論其責ヲ受繼ガルルモノト思フデスケレドモ、一應確メテ置キタイト思ヒマスカラ御手數ナガラ御答ヲ願ヒマス

○國務大臣(阪谷芳郎君)　御答イタシマスガ、此非常特別税ヲ繼續スルト云フコトニ付キマシテハ是ハ最モ必要ナルコトト信ジマス、固ヨリ十分ニ熟考シ十分ナル責任ヲ取ッテ御答ヲ致シマス

○男爵伊達宗敦君　其事デハナイ、私ノ御尋ネシタイト思フノハ此非常特別税法ト云フモノヲ二回ニ提出ニナリマシタ、第一回第二回ニ提出サレタ其非常特別税ト云フモノニ付テハアナタモ其時ハ大藏次官デアッテ殆ドアナタノ手デ出來タモノカモ知レマセヌガ、之ニ付テ今之ヲ繼續スルト云フ必要ガアルカ否ヤト云フコトハ是ハ御尋ネシナイデモ、アナタガ今茲デ之ヲ改正シテ繼續スルト云フコトヲ述ベラレタノデ分ッテ居リマスガ、此案ニ付テ卽チ前内閣ノ出シタ案ニ付テ後トヲ繼イダ卽チ大藏大臣ノ任ヲ繼イダ所ノ阪谷君ガ前ノ大藏大臣ノ出サレタ案ニ熱心ニ同意サレルヤ否ヤ、又之ニ對スル責任モ卽チ前ノ大藏大臣ノ責任ヲ承繼イデ責任ニ任ズル積リデアルカ、ソレヲ御尋ネシタイノデアリマス

○國務大臣(阪谷芳郎君)　此案ト云フモノハ固ヨリ熱心ニ必要トシテ贊成ヲ致シマスガ、前ノ大藏大臣ノコトニ付テハ私ハ少シ御答イタシ兼ネマス、私自身ノ責任ハ十分ニ取リマス

○子爵曾我祐準君　チョット御尋ネシマス、此必要ナコトハ大藏大臣ノ説明デ能ク分リマシタガ、先刻ノ御説明ニ依リマスト非常特別税法ハ普通ノ税ノ如クニナリマスガ、矢張リ非常特別ト云フ名ハ冠ッテ居ルヤウデアリマス、普通ノ税ニナッテモ非常特別ト云フ名稱ハ削ラレヌノデアリマスカ、矢張リ左樣デゴザイマスカ、一應御尋ネ致シマス

○國務大臣(阪谷芳郎君)　チョット、ドウ云フコトデゴザイマシタカ、今一應……

○子爵曾我祐準君　先刻ノ御説明デハ此非常特別税ハ今後ハ普通ノ税ニナルヤウデアリマスガ、併シナガラ非常特別税ト云フ名ハ矢張リ此字ニ書イタモノノ上ニ付テハ何所マデモ附テ回ルノデアリマスカ、是ハ矢張リ何所マデモ削ラヌ積リデアルカ、御尋ネヲ致シマス

○國務大臣(阪谷芳郎君)　此非常特別税ノ名ハ其儘ニ致シテ置キマス積リデアリマス、是ハ段々調査ノ上、改正ヲ加ヘマシテモ此名ハ非常特別ト云フ名ヲ存シテ置キマス

○子爵曾我祐準君　名ハ非常特別税デアッテモ事實ハ通常平凡ノ税ニナルノデアリマスカ

○國務大臣(阪谷芳郎君)　左樣デゴザイマス、期限ガ取レルダケデゴザイマス

○子爵谷干城君　是ハ餘ホド大問題デ、私ナドハ容易ニタヤスク贊成ノ出來ナイ事柄ト思フ、又此非常特別税ト云フモノハ、此戰爭ノ際デアッテ實ニ國ノ安危ニ繫ルト云フコトデ已ムヲ得ズ是ハ泣ク〳〵皆是ハ怺ヘテ居ル、デ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、谷ナドハ既ニ貴族院ノ多數ノ諸君ト同意ヲシテ是ハ決シテ許スベカラズト決シタモノデモ、再ビ國ノ安危ニ繫ルカラ已ムヲ得ナイ怺ヘニヤナラヌ、斯ウ云フノデ前説ヲ飜シテ謂ハユル腰ヲ拔カシテ通過ヲ計ッタ程ノ事柄デアリマス、又人民モデス、非常特別ト云フノデ泣イテ怺ヘテ居ルモノヲ既ニ戰サハ濟ミ、戰サハ勝ッタニ、ソレヲ何所〳〵マデモ繼續シテ矢張リ臥薪嘗膽デ汝等ハ苦イモノバカリ食ッテ居レ、此戰サノ跡始末ヲ付ケナケレバナラヌカラ此非常特別税ハ此儘之ヲ繼續シテ行カニヤアナラヌト斯ウ云フコトニナルト信ト云フモノヲ失フノデアル、私ドモハ從來孔子ノ主義ヲ執ッテ居ル人間デアル、孔子ハ何ト云ッテ居ルカ、食ヲ足シ兵ヲ足シ民之ヲ信ズル、ソレヲ食ヲ足スト云フノハ卽チ國家ノ財源ヲ十分ニ發達サシテ兵糧彈藥其他ノ事ニ不足ノ無イヤウニ金ヲ造ルガ卽チ食ヲ足スノ解釋ニナル、又兵ハ我々ハ決シテ其國ヲ守ルダケノモノヲ滅サウト云フノデハナイ、此際ニ十分ニ兵ハ拵ヘニヤナラヌ、併ナガラ是モ各々程度ガアル、所ガコノ民之ヲ信ズルト云フ、民ニ嘘ヲ言ハレヌト云フノガ國ヲ治メル所ノ根本デアル、ソレデ已ムヲ得ヌコトナラ已ムヲ得ヌコトヲ懇々ト述ベテ然ル後、民ニ訴ヘヌケレバナラヌ、其時ハ我々モ贊成スルカモ知レヌ、併ナガラ頭デ之ヲ繼續シテ仕舞フ、汝等一言モ言フナ、斯ウ云フ不都合ナコトハ無イト考ヘルカラ追々之ニ付テハ委員會デ考ヘモ述ベマスガ、先ヅ是ダケノ事ヲ申シテ置キマス

○西村亮吉君　此法案ニ就テ質問ガゴザイマスガ、此非常特別税法ノ第一條ト第二十七條ヲ削除シテ之ヲ此儘永代ニ徵税スルト云フ法ニナルノデアリマスガ、此税法ト云フモノハ日露開戰ノ爲ニ設ケラレタ非常特別税法デアリマ

ス、故ニ一ノ税目ニ對シテ二重ノ税ガカカッテ居ルノデアリマス、即チ此第二條ニ「左ニ掲クル租税ニ付テハ關係法規ノ定メタル税額ノ外左ノ割合ノ税額ヲ增徴ス」ト云フコトニナッテ居ル、シテ見ルト一ツノ土地、一ツノ税目ニ對シテ二樣ニ税ガカケテアル、一ツノ税目ニ對シテ二樣ノ税ヲカケルト云フノハ如何ニモ不都合千萬デアル、不都合千萬デアルケレドモ戰時ノ際デアッテ實ニ已ムヲ得ヌ、已ムヲ得ヌニ依ッテ斯ノ如キ非常特別税法ヲ設ケラレタノデアル、ソレガサウ云フ譯デアルカラ誰モ之ニ對シテ異存ハ無ク承認ヲシタモノデアル、ソコヘ此爲ニ二十七條ヲ設ケテ平和克復ニナッタナラバ翌年ノ末日限リ廢スルト言フコトニシテ安心ヲシテ國民ハ税ヲ納メテ居ッタ、然ルニ平和克復ニナルト此理由書ニアルヤウニ、公債ノ元利、恩給年金等ニ金ガ澤山要ルカラ之ヲ此儘存シテ永續スル、唯此儘存スルト差支ヘルカラ第二十七條ヲ削ッテ永續スルト云フノデアル、實ニ不都合千萬デアラウト思フ、又此一條ト二十七條ヲ削ッテ見タ所ガ、非常特別税法ト云フモノハ依然トシテ存シテ居ル、此戰時ニ付テ設ケラレタ非常特別税法ヲ以テ永代ニ一ノ税目ヘ二重ニ税ヲ取ルト云フコトヲ永續スル……

○議長(公爵德川家達君)　西村君ニ伺ヒマスガ、ソレハ御質問デゴザイマスカ

○西村亮吉君　是ハ質問ノ前ニ是ダケヲ申サヌト分ラヌカラ前置キヲ申シテ居ルノデ、即チ戰時ノ爲ニ設ケタ非常特別税法ヲ永久ノ租税增徴ト云フコトニシテ之ヲ取ルト云フノハ如何ニモ不都合デアルノデアリマス、然ルニ此不都合ナルニモ拘ラズ此案ヲ御出シナサレタト云フモノハ、平和克復後一年間デハ税法ヲ改正スル餘日ガ無イ、依テ先ヅ斯ノ如クシテ置イテ徐ロニ改正ヲスルト云フ御考ヘデ此税法改正案ヲ御出シナサレタモノデアルカト思フノデス、如何デゴザイマセウカ、是ハ當然ニ斯クセニヤナラヌト云フ御考ヘカ、又斯クシテ置イテ改正ヲスルト云フノ御考ヘカ、此事ヲ承ッテ置キタイ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君)　御答イタシマス、此非常特別税ヲ繼續スルト云フコトニ付キマシテハ、固ヨリ政府ニ於キマシテモ非常ニ熟考イタシマシタ結果デアリマス、奈何セム戰爭ノ結果ト致シテ非常ニ負擔ノ增シテ來タト云フコトハ西村君モ御承知ノコトデアラウト考ヘマス、又既ニ豫算案ハコチラニ回ッテ居リマスコトデアリマスカラ如何ナル費用ニ政府ガ之ヲ使フカト云フコトハ多辯ヲ要セヌト考ヘマス、デ然ル以上ハ茲ニ國トシテ一日モ無ケラニヤナラヌモノハ即チ此經常ノ財源デアル、茲ニ期限ヲ附ケテ置クノハ即チ經常ノ財源デ無イ、故ニ將來ノ國家ノ發達ニ伴ヒマシテ此大戰爭ヲシマシタ跡ノ始末ヲ付ケル上ニ於テ更ニ是ダケノ經常ノ歲入ガ必要デアルト云フコトガ極ッタ以上ハ、經常ノ財源ハ一日モ無カルベカラザルモノト確信イタシマス、是デ以テ此政府ノ本案ヲ提出イタシマシタ趣旨ハ御了解下スッタコトト信ジマス

○男爵伊達宗敦君　モウ一回大藏大臣ニ質問ヲ致シマス、唯今私カラ此案ニ付テ前ノ大藏大臣ノ立テラレタ案ヲ現任ノ大藏大臣阪谷君モ之ニ對シテ熱心ニ同意セラルルヤ否ヤ、其責任モ其儘引受ケラルルカドウカト御尋子シマシタガ、之ニ對シテノ御答ハ私ノ耳ガ惡イノデアルカ知ラヌガ、ドウモ能ク分ラヌノデアリマス、是ハ幾ラ御尋子申シテモ左ヲ問ヘバ右ニ避ケ、右ヲ問ヘハ左ヘ逃ゲ、千變萬化、雄辯ヲ以テ答ヘラルルノデアルカラ到底私ノ腹ニ落ツル御答ヲ得ル望ミハ無イト思ヒマスカラ御尋子シマセヌガ、茲ニ私モ御問ヒ申サウト思ッタト同一ノ事ヲ曾我子爵ヨリ御尋子ニナッタ、ソレニ對シテノ御答、次ニハ西村君ヨリ唯今述ベラレタニ對シテノ御答ニ付テ疑惑ヲ生ジテ來タノデアリマス、ソレハ何デアルカト云フト、此非常特別税法ノ第一條、第二十七條ヲ削除スル……第一條ハ「臨時事件ニ因リ生シタル經費ヲ支辨スル爲」云々、ソレカラ二十七條ハ平和克復ノ翌年末ニ於テ云々ト云フ二箇條ヲ取ッテ仕舞ッテ永久ノ税ニスル、是ハ必要ガアルカラ其ノ必要ニ付テノ御述ベノコトハ今問ヒマセヌケレドモ、ソレヲ取ッテ仕舞フ、即チ第一條、第二十七條ヲ削除シテ仕舞ッテモ、尙此非常特別税ト云フ名ガ附テ居ルカト云フ、曾我子爵ノ御尋子ト考ヘマス、是ハ誤ッテ居ルカモ知レマセヌガ、私ノ承ッタノハサウ思ッテ居リマス、然ル所ソレニ對スル大藏大臣ガ是ハ附ケテ置ク積リデアル、斯ウ御答ニナッタヤウニ思ヒマスルガ、果シテサウデアラウカ、ソレデアルト餘程ヲカシイヤウニ思ヒマスルガ一應御尋イタシタイ、御分リニナラ子バモウ一遍述ベマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君)　御答イタシマスガ、此非常特別税法ハ政府ガ始メテ提出イタシマシタトキニハ此期限ハ無カッタノデゴザイマス、非常特別税法ト云フノデ提出シマシタ

〔男爵伊達宗敦君「ソレハ知ッテ居リマス」ト述ブ〕

其場合ニ衆議院ニ於テ修正ニナッテ期限ガ這入リマシタ、然ルニ貴族院ニ於キマシテハ此期限ヲ入レルト云フコトデハ如何デアラウカト云フ御論モ其際アリマシタガ、多數ノ御決議ニ依リマシテ卽チ衆議院修正通リ御決定ニナッタ次第デゴザイマス、此度ハ唯今西村君ニモ御答イタシマシタガ事情ガ變ッテドウシテモ之ヲ繼續シナケレバナラヌ必要ガ生ジマシタガ故ニ、最初ノ政府原案ノ通リ此期限ヲ取リマシタ、故ニ法律ノ名稱ハ別ニ變ヘマセヌ、斯ウ云フコトヲ御答イタシマスノデアリマス

○男爵伊達宗敦君　モウ一應、大變度々御迷惑デゴザイマセウガ、名稱ヲ變ヘルト云フコトハ卽チ非常特別稅ト云フコトヲ變ヘルト云フコトデアリマス、ソレデ大藏大臣ノ述ベル所デハ期限ヲ衆議院デ云々、之ヲ取レバ永久ノ稅、永久ノ稅ニ非常ト云フ文字ヲ附ケルノハドウ云フモノデアリマスカ、卽チ非常ハ讀ンデ字ノ如ク常デナイカラデアリマセウ、ソレニ永久ト云フノハ先ヅ今ノ大藏大臣ノ御見込デハ何時マデモ是ハヤッテ行クガ宜イト云フ御見込ト思フガ、無期限ニナッテ仕舞フト詰リ永久稅ニナッテ仕舞フ、永久稅ト云フモノニ對シテ非常ト云フコトヲ附ケルノハドウ云フモノデアリマスカ、私ハ少シヲカシイト思ヒマス、ドウ云フモノデアリマス

〔男爵尾崎三良君「私モ一ツ序ニ大藏大臣ニ……」ト述ブ〕

○議長(公爵德川家達君)　マダ尾崎男爵ニ發言ハ許シマセヌ

〔男爵尾崎三良君「サウデアリマスルカ、ソレナラバ此次ニ……」ト述ブ〕

○國務大臣(阪谷芳郞君)　御答イタシマスガ、是ハ詰リ戰役ノ爲ニ起シマシタ稅デゴザイスルカラ、非常特別稅ト云フ名稱ガ是ハ附テ居リマスノデゴザイマシテ、何レ是ハ段々ト法案其物ニ付キマシテハ修正ヲ加ヘテ行キマセウト云フ考ヘデゴザイマスガ、卽チ期限ヲ除イテ之ヲ永久ノモノニ致シテ、サウシテ段々ト稅法ト云フモノニ改正ヲ加ヘテ行クト云フコトハ至當ノ順序デアラウト考ヘマスノデアリマス

○男爵尾崎三良君　本員モ一應質問イタシタウゴザイマスルガ、此非常特別稅ヲ繼續スルト云フコトハ餘程ノ大事件デアラウト思ヒマス、抑〻此非常特別稅ノコトニ付テハ唯今谷子爵ノ述ベラレタ通リノ次第デアッテ已ムヲ得ズ國民一同之ニ應ジテ居ル譯デアリマスルガ、併ナガラ此際之ヲ繼續スルト云フコトニ付テハ餘程ノ是ハ大事件デアラウト思ヒマス、併ナガラ既ニ政府ニ於テモ此非常特別稅ノ中ニ永久ニシテモ宜イモノモアリ、又中ニハドウモ一日モ早ク改正ヲシナケレバナラヌ惡稅モ隨分此中ニハアラウト思ヒマス、ソレハ殆ド全國ノ輿論ニナッテ居ル惡稅モアルヤウニ思ヒマス、然ルニソレヲモ忍ンデ此度之ヲ繼續シテ行クト云フノハ餘程ノ色々ノ已ムヲ得ヌ事情ガアルノト察シマスルガ、ソレモ一年ヤソコラナラバ已ムヲ得ズ贊成モセネバナラヌ、國民モ亦苦痛ヲ忍ンデ同意ヲスルデアリマセウガ、何レ是ハ成ルベク速ニソレ〳〵良否ヲ擇ンデ修正セネバナラヌコトト考ヘマス、ソレニ付テハ既ニ衆議院ニ於テハ之ヲ二年ニ限ッテ修正ヲスル、ソレニハ稅法調査委員ト云フモノヲ設ケテ其二年ノ間ニ調査委員デ改正ノ意見ヲ立テル、改正案ヲ作ルト云フコトニ政府ニ於テモ同意サレテ、其條件ヲ以テ衆議院デ之ヲ多數ガ議決シタト云フコトニ速記錄デ承知イタシマシタガ、固ヨリ是ハ斯ル重大ナル事件デアル以上ハ當局者ニ於テハ特ニソレ〳〵調ベモ付テ居ルコトナリ、又此後二年掛ラナクテモ今俄ニ始マッタコトデモナイ以上ハ一年モアレバ十分ノ御調ベガ出來ルコトト考ヘマスルガ、ソレヲ殊更ニ二年ノ期限ヲ定メテ又殊更ニ彼調査委員ト云フ者ハドンナ者カ知ラヌケレドモ是ハ當局ノ役人ノ外ニ色々ノ民間ノ人デモ入レテ調ベルト言フヤウナコトニ承知イタシマシタガ、此租稅ニ關スル當局ノ官吏ト言フモノハソレ〳〵機關ガ揃ッテ居ッテ十分ソレ位ノ調査ハ出來ルコトト我々ハ信ジテ居ル、何ゾ殊更ニ當局以外ノ人ヲ入レテ調査セ子バ、ソレガ出來ヌト云フコトハ無カラウト思フ、ソレガ出來ヌヤウナ當局者デハ無カラウト思フ、ソレヲモ承知セラレタト云フコトデアル以上ハ迚モ當局者ノ手ニ餘ッテ出來ナイカラ民間ノ力ヲ借ラ子バナラヌト云フ御觀念デ御同意ナサレタノデアラウカ、其御同意ナサレタ事情ヲ一應承リタイト思ヒマス

〔國務大臣阪谷芳郞君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郞君)　御答イタシマスルガ、此調査會ノ組織ノ內容ニ付キマシテハ未ダ此所ニ確實ニ決定イタシタコトハゴザイマセヌ、併ナガラ政府ノ考ハ戰後非常ナ此經濟上ノ事情モ變化シテ居ル、又財政上ノ事情モ變化シテ居ル重大ナ事件デアリマスルカラシテ、成ルベク廣ク意見ヲ徵シテ此修正ノ上ニ於テ他日遺憾ノ無イヤウニ致シタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、是ダケ御答イタシマス

○子爵谷干城君　衆議院ノ先ヅ附帶條件、其修正委員ヲ設ケルト云フ約束デ之ヲ可決シタト云フコトニ付テハ我々ハ大ニ意見ガ違フノデアリマス、ソレ

ヲ當テニシテカラニ、此議場デ可決スベキモノデナイ、口約束ナドト云フモノハ當ニナラヌ、歴々トシテ是マデ堂々タル人ガ述ベタコトガ皆嘘ニナッテ居ル、又調査シタ跡ヲサアヤッテ見ルト、ドウモヤル積リデハアッタケレドモ、ドウモ仕方ガ無イ、斯ウ云フ譯デ直キニ口約束ガ嘘ニナッテ仕舞フ、嘘ノ證據ヲ擧ゲヨト仰シャルナラ歴然トソレハアルケレドモ、先ヅ今日ハ……ソレデドウシテモ法律ハ法律トシテ、法律ニ依ッテ人民ハ權利モ確メ又法律ニ依ッテ約束モ嚴重ニナル、口約束ナドハ何ニモナラヌ、又果シテ西園寺侯ノ內閣ガ二年先キ三年先キマデ續クヤラ續カヌヤラソレモ分ラヌ、サウスレバ前內閣ハ斯ウデアッタガ、アトノ內閣ハサウデナイ、直グニ又サウナル、總テサウ云フコトハ法律デ極メテ置カナケレバナラヌ、ソレデドウシテモ已ミヲ得ヌコトデ、今尾崎君ノ言ハレタヤウニ、一年延ベルトカ三年延ベルトカ、云フヤウナコトハ、是ハ場合ニ依ッテハサウセニヤナラヌ事モアラウト思フケレドモ、ナニシロ此戰時税……非常税ト云フモノニナッテ居ルカラ、我同胞ノ五千萬ト云フモノハ皆之ヲ待構ヘテ居ル、是ガ減ッタナラバ……減ゼラレタナラバ、少シ息ガツケヤウカト待構ヘテ居ル、其傍ラデ今度ノ豫算デ出テ居ルモノヲ見ルト、新シイモノガ段々……モ一ツ怺ヘテ節儉モセヌナラヌモノガ、國勢ガ發達シタ、國運ノ發達ト云フコトヲ以テ、ドン〳〵膨張シテ居ル、國運ハ成ルホド發達シタガ、國力ハ如何……

○議長（公爵德川家達君）　谷子爵ニ伺ヒマスガ、御質問ノ御積リデスカ

○子爵谷干城君　固ヨリサウデス、ソレデサウ云フ場合デアリマスカラ、政府ハモ一ツ御親切ニ……御親切ニ人民ニ成ルホド已ミヲ得ヌト云フコトヲ知ラシムルダケノ御說明ガ願ヒタイ、單ニ唯國運ガ發達シタカラ金ガ要ル、汝等ソレヲ出セト云フヤウナ、實ニ冷淡ナコトデハ、甚ダ私ハ面白ウナイト思フ、ソレデ此案ニ付テハ、委員會ニ於テ追々又議論モシマセウカラ、此所デハ是ダケニシテ置キマスガ、ドウゾソレマデニ緩ックリ御考ヘ置キ下サレタイト思フ

○西村亮吉君　尚唯今ノ大藏大臣ノ御答ニ付テ質問ガアリマス、唯今大藏大臣ハ、丁度豫算モ參ッテ居ル、此位ノ金ノ要ルト云フコトハ能ク分ッテ居ル、……成ルホド能ク分ッテ居リマス、此位ヰ金ノ居ルコトハ今日分ッタデハナイ、卽チ三十七年ノ二月、ドーント云ウタ時カラ分ッテ居ル、政府ハ是マデ御氣付ガ無イカ、ソコデ今日以後ドレ位ヰ金ガ要ルカ、此儘繼續スルト云フコトハ如何ニモ……政府ハ矢張リ二重ニ税ヲ取ッテ此儘繼續スルノ御積リデアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（阪谷芳郎君）　西村君ニ御答イタシマスガ、非常特別税ハ從來ノ税率ガ增シテ居リマスダケデ、別ニ二重ト云フコトハゴザイマセヌ

○議長（公爵德川家達君）　次ノ議事日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選擧

○伯爵正親町實正君　此特別委員ニハ、前ノ國債整理基金特別會計法案ト此案トハ、密接ノ關係モアルコトデアリマスカラ、右ノ同一委員ニ付託シタイト思ヒマス

○議長（公爵德川家達君）　正親町伯爵ニ伺ヒマスガ、日程第二ノ法案ノ特別委員ト同一委員ニ審査ヲ付託シタイト云フノデスカ

○伯爵正親町實正君　サウデス

○子爵堀田正養君　正親町伯爵ノ說ニ贊成

○男爵松平正直君　正親町伯爵ノ同一委員ニ付託ノ說ニ贊成

○議長（公爵德川家達君）　正親町伯爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵德川家達君）　過半數ト認メマス、是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、唯今御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔小原書記官朗讀〕

國債整理基金特別會計法案外一件特別委員

伯爵德川達孝君	伯爵吉井幸藏君	子爵曾我祐準君
子爵堀田正養君	子爵三島彌太郎君	男爵岡內重俊君
男爵松平正直君	男爵前島密君	平山成信君
小松原英太郎君	男爵平野長祥君	男爵本多政以君
富田鐵之助君	廣海二三郎君	澤原俊雄君

○議長（公爵德川家達君）　明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス

〔小原書記官朗讀〕

議事日程　第七號　明治三十九年二月十四日（水曜日）

午前十時開議

第一　明治三十九年度歳入歳出總豫算案竝明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件
第二　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件
第三　臨事軍事費豫算追加案審査期限ヲ定ムルノ件
第四　明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)審査期限ヲ定ムルノ件
第五　明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)審査期限ヲ定ムルノ件
第六　明治三十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)審査期限ヲ定ムルノ件
第七　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)審査期限ヲ定ムルノ件
第八　鐵道敷設法中改正法律案(政府提出衆議院送付)　第一讀會
第九　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧
第十　産業試驗費講習費國庫補助法案(政府提出衆議院送付)　第一讀會
第十一　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧
第十二　軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)　第一讀會
第十三　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

○議長(公爵徳川家達君)　本日ハ是デ散會イタシマス

午前十時五十八分散會